

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成23年6月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

事後調査の概要

1．調査概要	- 1
2．工事の実施状況	-10
3．調査結果の概要	-11

事後調査結果

1．大気質	- 1
2．水質	- 9
3．悪臭	-13

事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 23 年 6 月の事後調査の概要は表 - 1 に、調査地点の位置は図 - 1 に示すとおりである。

埋立地周辺における調査

表 - 1 (1) 事後調査の概要 (平成 23 年 6 月)

(1) 大気質 (図 - 1 (1) 参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1 点 (南港中央公園局)	6月1日～30日	通年連続

(2) 水質

一般項目 (図 - 1 (1) 参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5 点 × 2 層 [1, 2, 3, 4, 5] 上層: 海面下 1 m 下層: 海底面上 2 m	6月7日	1回 / 月
その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

埋立中の濁り等監視 (廃棄物処分場周辺) (図 - 1 (2) 参照)

- 1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1 点	6月1日～30日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1 点 内水 1 点	6月7,14,21,28日	1回 / 週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	6月7日	1回 / 月
全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数			4回 / 年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3 点 × 2 層 (護岸から 30 m) [19, 20, 21] 上層: 海面下 1 m 下層: 海底面上 2 m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回 / 年 (5月、8月、11月、2月)

表 - 1 (2) 事後調査の概要 (平成 23 年 6 月)

- 1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)	放流水 1点 内 水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
1,4-ジオキサン ダイオキシン類	1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査 ダイオキシン類は上層のみ調査		放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内 水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

表 - 1 (3) 事後調査の概要 (平成 23 年 6 月)

- 2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13,14,15,16,17,18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン			2回/年 (8月、2月)

表 - 1 (4) 事後調査の概要 (平成 23 年 6 月)

(3)底質

一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) [2, 3, 4, 5]		2回/年 (8月、2月)

廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) [15]		2回/年 (8月、2月)
有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル パナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表 - 1 (5) 事後調査の概要 (平成 23 年 6 月)

(4) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年 (4月、10月)

(5) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]	6月17日	4回/年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [2, 3] 堺基地 : 2点 [1, 2] 泉大津基地 : 2点 [A, B]		1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [2, 3] 堺基地 : 2点 [1, 2] 泉大津基地 : 2点 [A, B]		2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [2, 3] 堺基地 : 2点 [1, 2] 泉大津基地 : 2点 [A, B]		2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 [1, 2, 4] 堺基地 : 4点 [1, 2, 3, 4] 泉大津基地 : 3点 [A, B, C]		4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) [5, 6] 堺基地 : 2点(風上、風下) [5, 6] 泉大津基地 : 2点(風上、風下) [D1, D2]	6月15日 6月15日 6月15日	2回/年 (6月、8月)

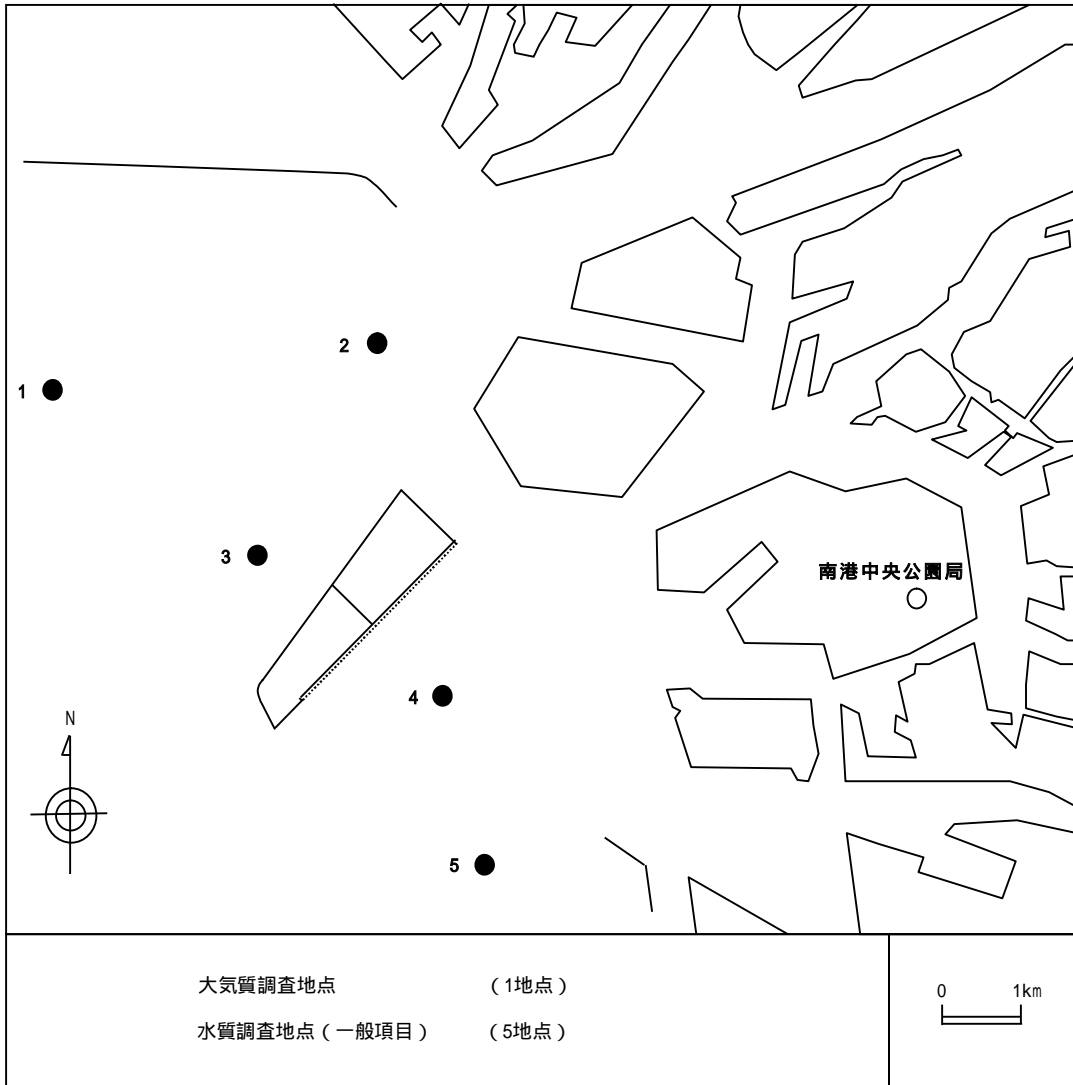


図 - 1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点(平成 23 年 6 月)

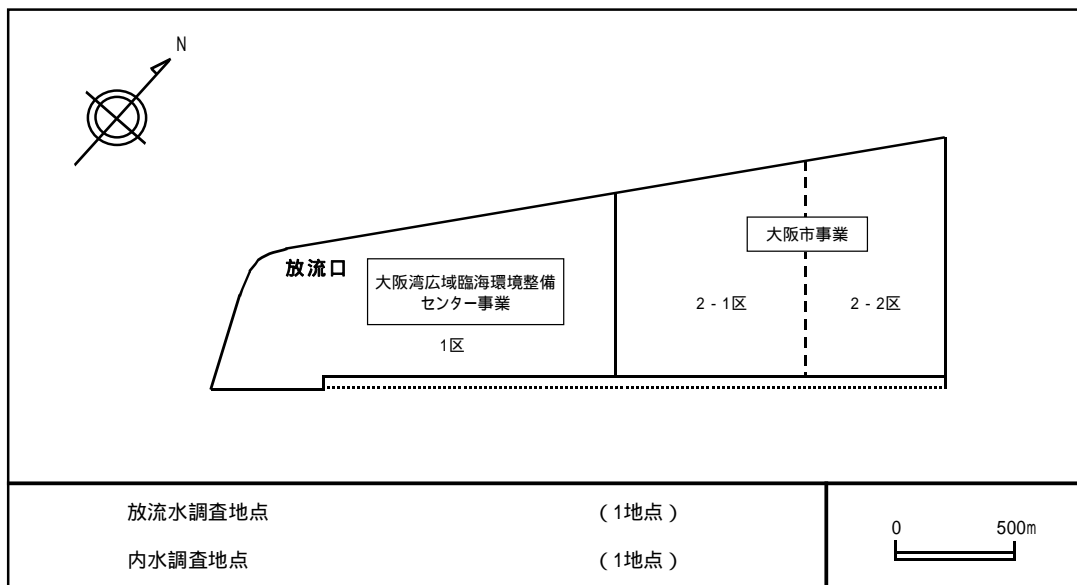


図 - 1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点(平成 23 年 6 月)

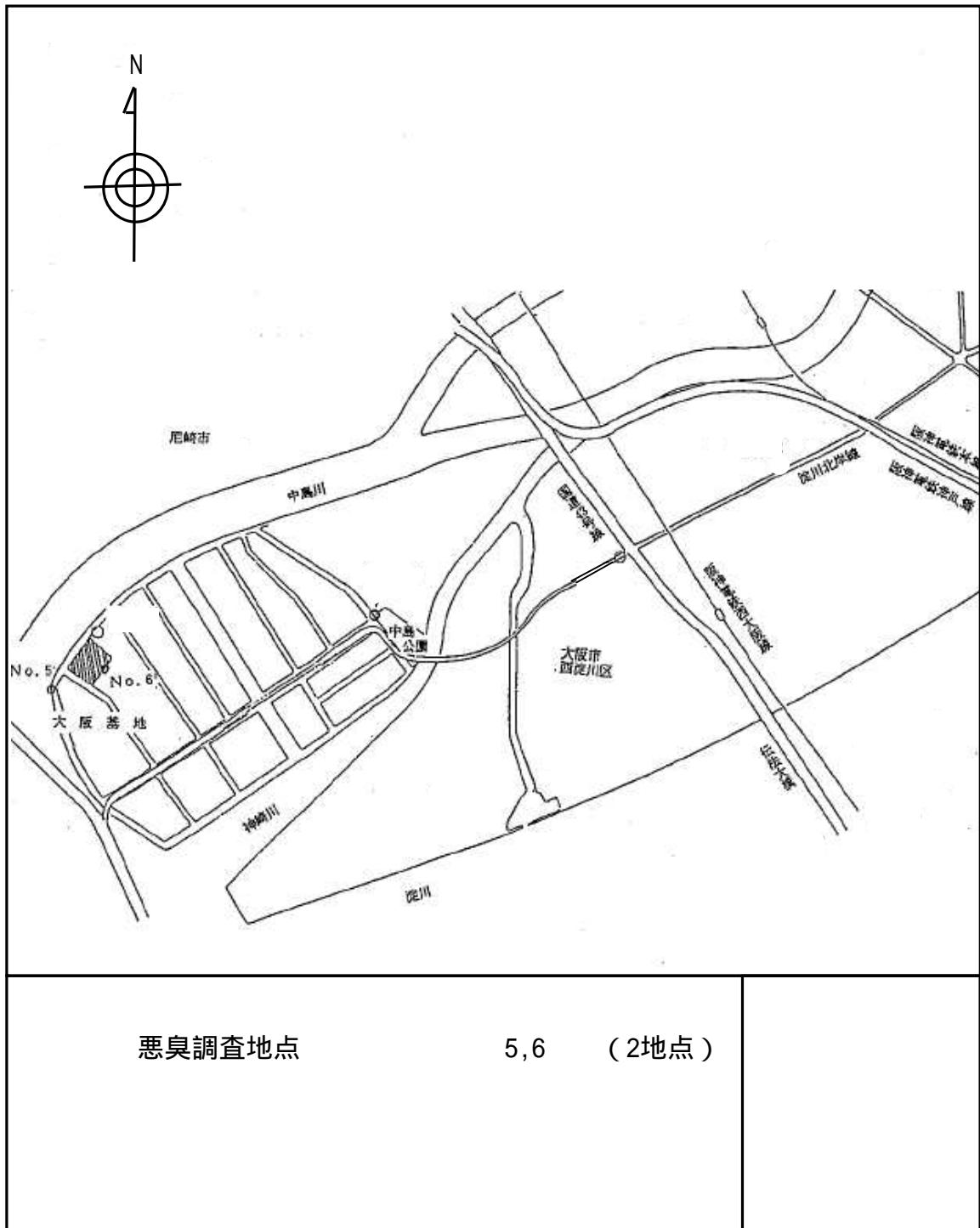


図 - 1(3) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(大阪基地) (平成 23 年 6 月)

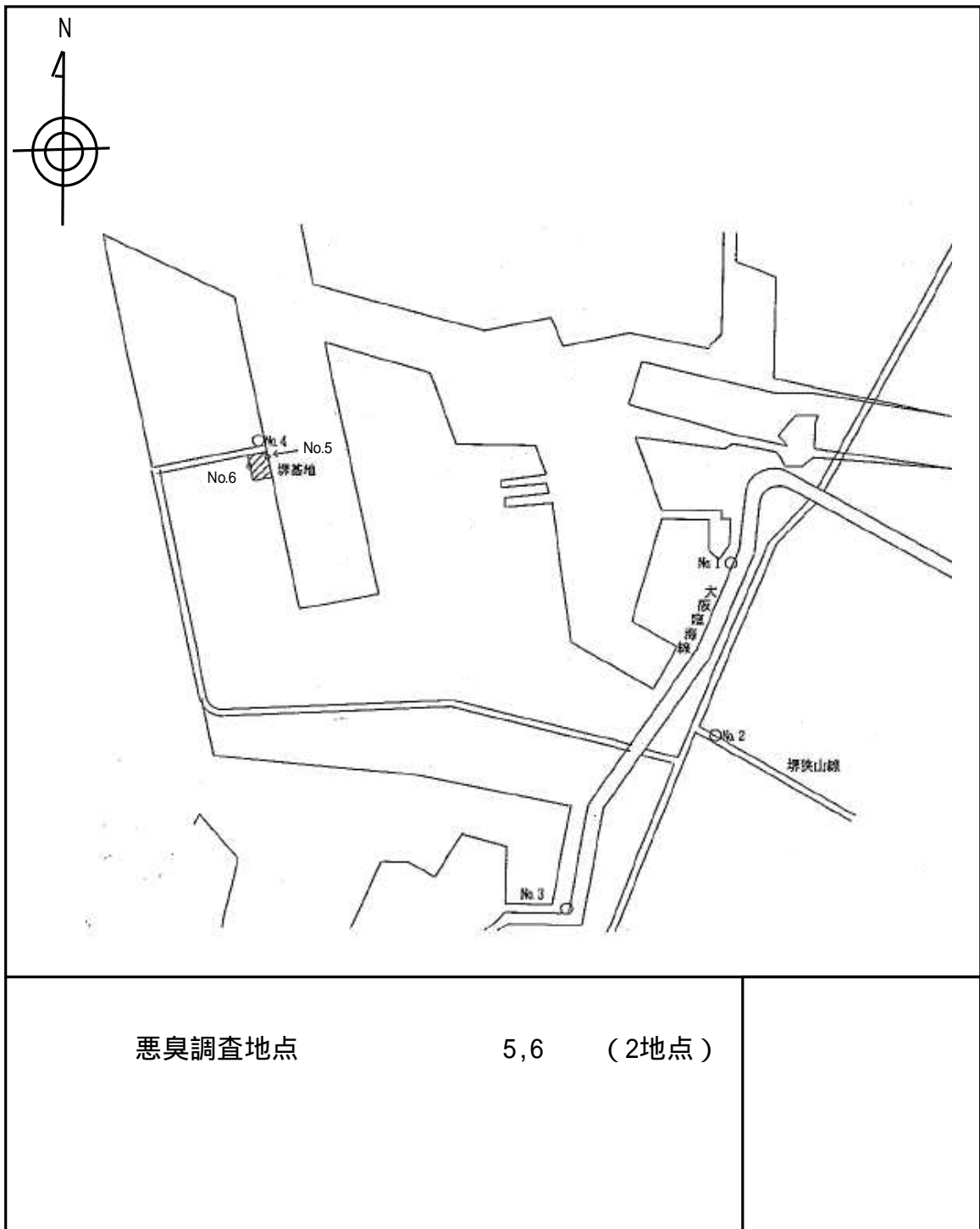


図 - 1(4) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(堺基地) (平成 23 年 6 月)



図 - 1(5) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(泉大津基地) (平成 23 年 6 月)

2. 工事の実施状況

平成 23 年 6 月の工事の実施状況は、図 - 2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図

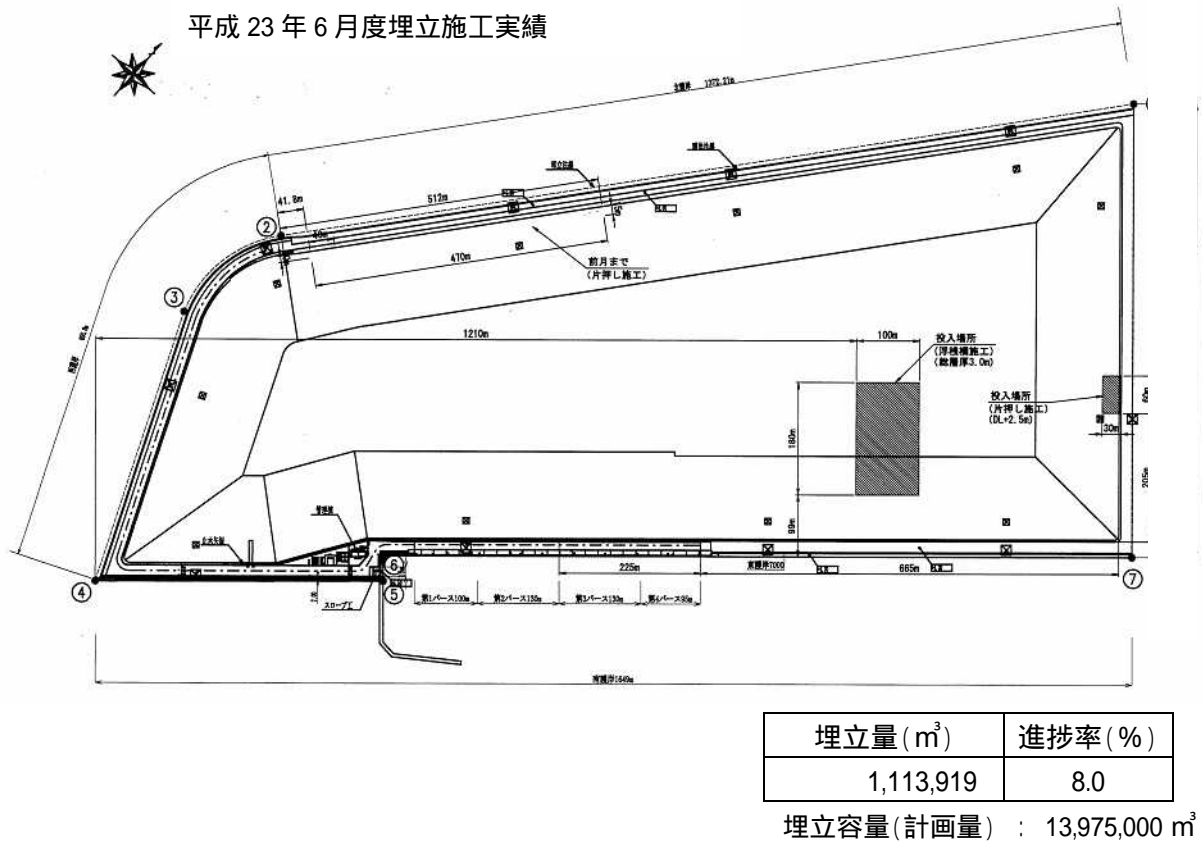


図 - 2 工事の実施状況 (平成 23 年 6 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.007ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.011ppm、1時間値の最高値は 0.027ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.027ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.045ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.030mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.044mg/m³、1時間値の最高値は 0.084mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.0～8.6、下層で 7.8～7.9 の範囲にあり、上層では調査地点 4 及び 5 が環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 4 (8.5)、調査地点 5 (8.6) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 7.7～8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.0～4.6mg/L、下層で 1.0～2.3mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、3、4 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (4.3mg/L)、調査地点 3 (3.7mg/L)、調査地点 4 (4.0mg/L)、調査地点 5 (4.6mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 1.6～4.9 mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 10～15 mg/L、下層で 5.2～6.4mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.64～1.2mg/L、下層で 0.26～0.36mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.66mg/L)、調査地点 2 (0.64mg/L)、調査地点 3 (1.2mg/L)、調査地点 4 (1.0mg/L)、調査地点 5 (1.1mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、0.46～2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.043～0.092mg/L、下層で 0.038～0.069mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 3、4 及び 5 において、下層では調査地点 2 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 3 (0.080mg/L)、調査地点 4 (0.085mg/L)、調査地点 5 (0.092mg/L)、下層における調査地点 2 (0.069mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 3～5 度(カサ)、下層で報告下限値未満 (<1)～1 度(カサ)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 4～12mg/L、下層で 2～3mg/L の範囲であった。

8) 加コフィル a

加コフィル a は上層で 9～53 μg/L の範囲であった。下層で報告下限値未満 (<1)～1 μg/L であった。

- 1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第 6 ~ 9 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.0 ~ 1.0 度 (カリ) (平均値 0.2 度 (カリ)) の範囲であった。

水温は、18.7 ~ 26.9 (平均値 22.0) の範囲であった。

pH は、7.4 ~ 8.2 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、5.5 ~ 6.7mg/L (平均値 6.1mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、1 接触酸化槽において 8.7 ~ 9.8mg/L (平均値 9.2mg/L) 、 2 接触酸化槽において 9.5 ~ 10.0mg/L (平均値 9.9mg/L) であった。

注 : 1 . 水温は、分配槽の温度を測定。

2 . DO については、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ~ 1.3mg/L (平均値 1.1mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、全ての測定において報告下限値未満 (<1mg/L) であった。

pH は、7.8 であり、放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、8.6mg/L であり、放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

T-N は、1.7mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

・内水

SS は、4.9 ~ 14mg /L (平均値 7.8mg/L) の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ~ 2.1mg/L (平均値 1.4mg/L) の範囲であった。

pH は 8.7、COD は 15mg/L、T-N は 2.6mg/L であった。

3) 護岸外周

6 月は実施せず。

- 2 処分場周辺

6 月は実施せず。

(3) 底質

6 月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

6 月は実施せず。

(5) 悪臭

6 月は実施せず。

(6) 陸域生態系 (鳥類)

事後調査報告書 (平成 23 年 6 月分) で報告する。

廃棄物搬入施設周辺における調査

(1) 大気質

6 月は実施せず。

(2) 騒音・振動

6 月は実施せず。

(3) 交通量

6 月は実施せず。

(4) 悪臭 [悪臭様式第 2 号]

1) 大阪基地

臭気指数は No.5 (風下)、No.6 (風上) とともに <10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地

臭気指数は No.5 (風下)、No.6 (風上) とともに <10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

3) 泉大津基地

臭気指数は D 1 (風上)、D 2 (風下) とともに <10 であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1) 水質

水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	磷含有量 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm ³ 以下	同左

注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。

2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 悪臭

項目	基準値
臭気指数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} （泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。）

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表[平成23年6月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	3
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	22
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	567
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号(埋立地関連)

二酸化硫黄測定結果[平成23年6月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (水)	0.004	0.006	
	2 (木)	0.006	0.013	
	3 (金)	0.008	0.015	
	4 (土)	0.009	0.016	
	5 (日)	0.007	0.011	
	6 (月)	0.011	0.021	
	7 (火)	0.009	0.016	
	8 (水)	0.007	0.011	
	9 (木)	0.010	0.019	
	10 (金)	0.010	0.027	
	別	11 (土)	0.005	0.016
		12 (日)	0.006	0.012
		13 (月)	0.007	0.014
		14 (火)	0.007	0.014
		15 (水)	0.008	0.013
16 (木)		0.004	0.008	
17 (金)		0.005	0.011	
18 (土)		0.006	0.013	
19 (日)		0.006	0.015	
20 (月)		0.004	0.008	
値	21 (火)	0.006	0.014	
	22 (水)	0.010	0.017	
	23 (木)	0.004	0.006	
	24 (金)	0.004	0.009	
	25 (土)	0.005	0.013	
	26 (日)	0.004	0.007	
	27 (月)	0.003	0.005	
	28 (火)	0.005	0.009	
	29 (水)	0.010	0.019	
	30 (木)	0.010	0.018	
有効測定日数(日)		30		
測定時間(時間)		718		
月平均値(ppm)		0.007		
日平均値の最高値(ppm)		0.011		
1時間値の最高値(ppm)		0.027		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)		0		

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果[平成23年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (水)	0.011	0.035
	2 (木)	0.018	0.078
	3 (金)	0.017	0.058
	4 (土)	0.006	0.036
	5 (日)	0.002	0.005
	6 (月)	0.006	0.038
	7 (火)	0.014	0.060
	8 (水)	0.002	0.007
	9 (木)	0.008	0.031
	10 (金)	0.017	0.057
別	11 (土)	0.004	0.013
	12 (日)	0.002	0.010
	13 (月)	0.005	0.021
	14 (火)	0.005	0.025
	15 (水)	0.015	0.053
	16 (木)	0.007	0.027
	17 (金)	0.004	0.011
	18 (土)	0.011	0.043
	19 (日)	0.005	0.021
	20 (月)	0.024	0.078
値	21 (火)	0.013	0.050
	22 (水)	0.018	0.044
	23 (木)	0.008	0.022
	24 (金)	0.007	0.016
	25 (土)	0.009	0.040
	26 (日)	0.005	0.015
	27 (月)	0.004	0.011
	28 (火)	0.009	0.022
	29 (水)	0.013	0.052
	30 (木)	0.006	0.021
有効測定日数（日）		30	
測定時間（時間）		718	
月平均値（ppm）		0.009	
日平均値の最高値（ppm）		0.024	
1時間値の最高値（ppm）		0.078	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果[平成23年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (水)	0.033	0.044
	2 (木)	0.033	0.049
	3 (金)	0.038	0.050
	4 (土)	0.025	0.039
	5 (日)	0.017	0.031
	6 (月)	0.033	0.052
	7 (火)	0.044	0.060
	8 (水)	0.027	0.042
	9 (木)	0.030	0.047
	10 (金)	0.038	0.052
別	11 (土)	0.026	0.053
	12 (日)	0.028	0.044
	13 (月)	0.028	0.047
	14 (火)	0.030	0.059
	15 (水)	0.045	0.077
	16 (木)	0.032	0.052
	17 (金)	0.034	0.057
	18 (土)	0.040	0.060
	19 (日)	0.028	0.046
	20 (月)	0.037	0.046
値	21 (火)	0.026	0.042
	22 (水)	0.024	0.033
	23 (木)	0.011	0.016
	24 (金)	0.010	0.015
	25 (土)	0.010	0.015
	26 (日)	0.010	0.018
	27 (月)	0.008	0.012
	28 (火)	0.014	0.022
	29 (水)	0.023	0.043
	30 (木)	0.023	0.046
有効測定日数（日）		30	
測定時間（時間）		718	
月平均値（ppm）		0.027	
日平均値の最高値（ppm）		0.045	
1時間値の最高値（ppm）		0.077	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 （時間）		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下 の時間数（時間）		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 （日）		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下 の日数（日）		3	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果[平成23年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日	1 (水)	0.044	75.0	0.079	
	2 (木)	0.052	63.5	0.123	
	3 (金)	0.055	69.1	0.095	
	4 (土)	0.031	80.6	0.073	
	5 (日)	0.018	94.4	0.035	
	別	6 (月)	0.039	84.6	0.076
		7 (火)	0.058	75.9	0.120
		8 (水)	0.029	93.1	0.047
		9 (木)	0.037	81.1	0.077
		10 (金)	0.055	69.1	0.102
		11 (土)	0.030	86.7	0.060
		12 (日)	0.030	93.3	0.052
		13 (月)	0.033	84.8	0.059
		14 (火)	0.035	85.7	0.065
		15 (水)	0.060	75.0	0.097
値	16 (木)	0.039	82.1	0.073	
	17 (金)	0.037	91.9	0.058	
	18 (土)	0.051	78.4	0.100	
	19 (日)	0.033	84.8	0.058	
	20 (月)	0.062	59.7	0.123	
	21 (火)	0.039	66.7	0.092	
	22 (水)	0.041	58.5	0.072	
	23 (木)	0.019	57.9	0.036	
	24 (金)	0.017	58.8	0.027	
	25 (土)	0.020	50.0	0.052	
	26 (日)	0.015	66.7	0.028	
	27 (月)	0.013	61.5	0.022	
	28 (火)	0.023	60.9	0.041	
	29 (水)	0.036	63.9	0.069	
	30 (木)	0.030	76.7	0.053	
有効測定日数(日)		30			
測定時間(時間)		718			
月平均値(ppm)		0.036			
日平均値の最高値(ppm)		0.062			
1時間値の最高値(ppm)		0.123			
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		74.3			

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\begin{aligned} & \text{日(月)平均値 NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) \\ &= (\text{NO 及び NO}_2 \text{ が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) / \\ & \quad (\text{NO 及び NO}_2 \text{ が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) \end{aligned}$$

3. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果[平成23年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (水)	0.016	0.040
	2 (木)	0.023	0.067
	3 (金)	0.040	0.058
	4 (土)	0.043	0.084
	5 (日)	0.026	0.051
	6 (月)	0.040	0.081
	7 (火)	0.035	0.078
	8 (水)	0.019	0.041
	9 (木)	0.028	0.053
	10 (金)	0.041	0.077
別	11 (土)	0.021	0.050
	12 (日)	0.044	0.080
	13 (月)	0.029	0.061
	14 (火)	0.034	0.061
	15 (水)	0.032	0.056
	16 (木)	0.025	0.048
	17 (金)	0.020	0.042
	18 (土)	0.039	0.066
	19 (日)	0.027	0.045
	20 (月)	0.027	0.056
値	21 (火)	0.024	0.048
	22 (水)	0.034	0.065
	23 (木)	(0.029)	0.044
	24 (金)	(0.034)	0.065
	25 (土)	(0.033)	0.054
	26 (日)	(0.024)	0.046
	27 (月)	**	**
	28 (火)	(0.028)	0.038
	29 (水)	**	**
	30 (木)	**	**
有効測定日数（日）		22	
測定時間（時間）		567	
月平均値（mg/m ³ ）		0.030	
日平均値の最高値（mg/m ³ ）		0.044	
1時間値の最高値（mg/m ³ ）		0.084	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。
 3. **：機械の故障・修理または調整による欠測を示す。

気象観測結果（風向・風速）[平成23年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別	1 (水)	1.2	1.9	E	E
	2 (木)	0.8	1.9	NE	NE, N
	3 (金)	0.9	2.4	WSW	WNW
	4 (土)	1.0	2.1	W	WNW
	5 (日)	1.0	2.3	W	WNW
	6 (月)	1.1	2.4	WSW	WSW
	7 (火)	1.1	2.0	SSW	SSW
	8 (水)	1.4	2.6	WSW	WSW
	9 (木)	1.2	3.0	WNW	WNW
	10 (金)	0.7	1.3	WNW	NW
	11 (土)	1.1	3.3	SW	W
	12 (日)	0.8	1.9	N	N
	13 (月)	1.1	1.9	W	SSE
	14 (火)	1.1	2.5	NNW	WNW
	15 (水)	0.9	1.7	WNW	WNW
値	16 (木)	1.3	3.1	NE	NE
	17 (金)	1.0	2.1	WSW	NNE, WSW
	18 (土)	0.6	1.2	WNW	WNW, NW
	19 (日)	0.7	1.9	WNW	WNW
	20 (月)	0.7	2.7	E	NNE, E, NW
	21 (火)	1.0	2.0	WSW	SW
	22 (水)	1.0	1.8	WSW, W	WNW
	23 (木)	1.8	3.8	SSW	WSW, NW
	24 (金)	1.9	3.3	W	SW
	25 (土)	1.6	2.8	W	WNW
	26 (日)	1.1	2.4	SW	SSW
	27 (月)	2.0	3.1	SSW	SSW
	28 (火)	1.5	2.8	WSW	WSW, WNW
	29 (水)	1.2	2.1	W	SW, W
	30 (木)	1.3	2.2	SW	WSW
測定時間（時間）		720			
月平均風速（m/s）		1.1			
月最大風速（m/s）		3.8			
月最多風向（16方位）		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成23年6月分]

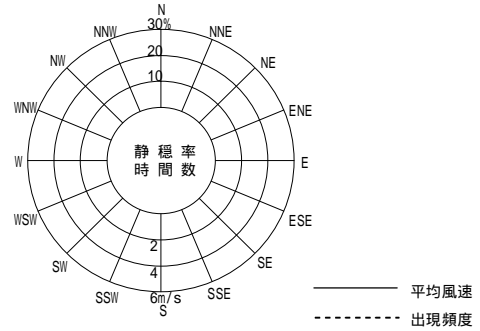
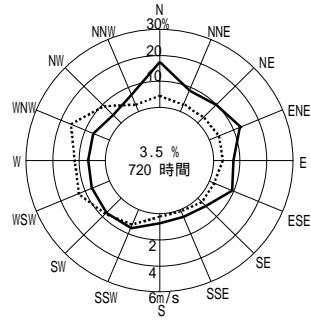
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	25	22	24	26	14	13	6	9	48	62	93	93	121	73	26	39	26	720
頻度(%)	3.4	3.0	3.2	3.5	1.9	1.8	0.8	1.2	6.5	8.3	12.5	12.5	16.3	9.8	3.5	5.2	3.5	-
平均風速(m/s)	1.9	2.0	2.7	1.7	1.9	0.9	0.7	0.7	1.7	1.7	1.5	1.4	1.3	1.0	1.4	2.6	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成23年6月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成23年6月分]

調査日：平成23年6月7日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	9:55	9:30	10:20	11:05	10:45	-	-	
透明度 [m]	1.4	1.4	1.5	1.2	1.1	1.1 ~ 1.5	1.3	
水温 []	20.2	19.8	20.4	21.1	21.9	19.8 ~ 21.9	20.7	
	16.6	16.4	16.6	17.0	17.0	16.4 ~ 17.0	16.7	
塩分 [-]	8.6	6.6	10.8	14.1	17.0	6.6 ~ 17.0	11.4	
	32.6	32.4	32.9	33.1	32.2	32.2 ~ 33.1	32.6	
濁度 [度(カサ)]	5	3	3	5	3	3 ~ 5	4	
	<1	<1	<1	<1	1	<1 ~ 1	1	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	5	6	4	8	12	4 ~ 12	7	
	3	2	2	2	2	2 ~ 3	2	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.1	8.0	8.1	8.5	8.6	8.0 ~ 8.6	-	
	7.8	7.8	7.9	7.9	7.9	7.8 ~ 7.9	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.3	3.0	3.7	4.0	4.6	3.0 ~ 4.6	3.9	
	2.3	1.0	1.4	1.2	1.1	1.0 ~ 2.3	1.4	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	11	10	10	13	15	10 ~ 15	12
		6.0	5.2	6.2	6.4	6.3	5.2 ~ 6.4	6.0
	飽和度 [%]	128	114	118	159	189	114 ~ 189	142
		75	65	78	81	79	65 ~ 81	76
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.66	0.64	1.2	1.0	1.1	0.64 ~ 1.2	0.92	
	0.31	0.36	0.29	0.26	0.29	0.26 ~ 0.36	0.30	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.047	0.043	0.080	0.085	0.092	0.043 ~ 0.092	0.069	
	0.049	0.069	0.049	0.038	0.040	0.038 ~ 0.069	0.049	
クロロフィル a (chl.a) [µg/L]	20	9	37	53	47	9 ~ 53	33	
	1	<1	1	1	1	<1 ~ 1	1	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質様式第6号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成23年6月分]

項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.0	～	1.0	0.2
水温	[]	18.7	～	26.9	22.0
pH	[-]	7.4	～	8.2	-
COD	[mg/L]	5.5	～	6.7	6.1
DO(No.1)	[mg/L]	8.7	～	9.8	9.2
DO(No.2)	[mg/L]	9.5	～	10.0	9.9
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水温は、分配槽の温度を測定。 ・DOについては、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。 				

（定期測定）

調査日	時刻	放流水	
		水温	DO
		[]	[mg/L]
6/7(火)	13:00	22.8	4.84
6/14(火)	9:58	23.8	4.25
6/21(火)	13:15	25.8	4.39
6/28(火)	13:15	30.4	3.24
特記事項			

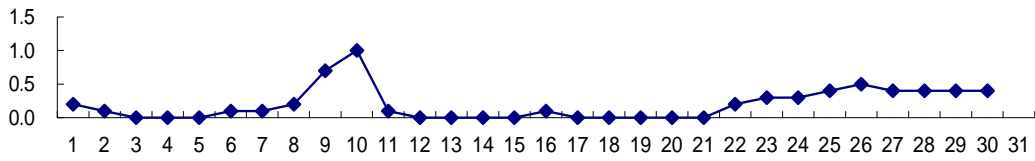
定期測定：水温とDO（連続測定）は参考値のため、平成22年11月から週1回、放流水の簡易測定を行っており、その結果を示している。

水質様式第7号

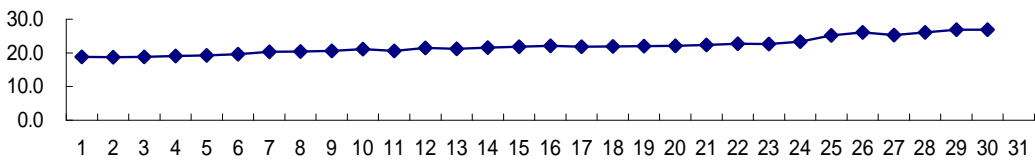
水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成23年6月分]

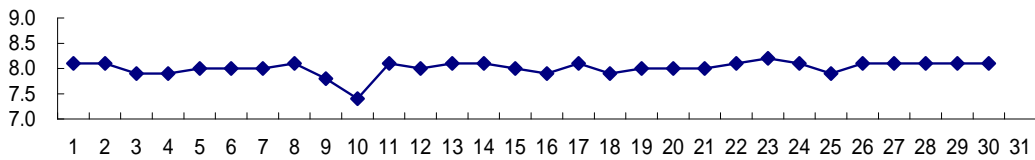
濁度[度(カウツ)]



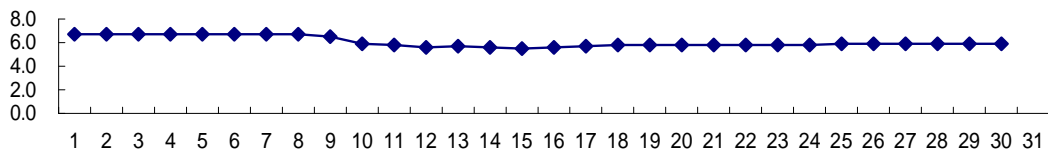
水温[]



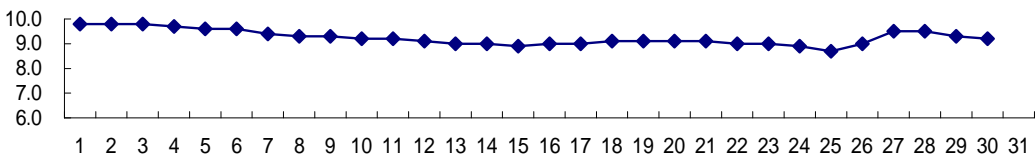
水素イオン濃度(pH)[-]



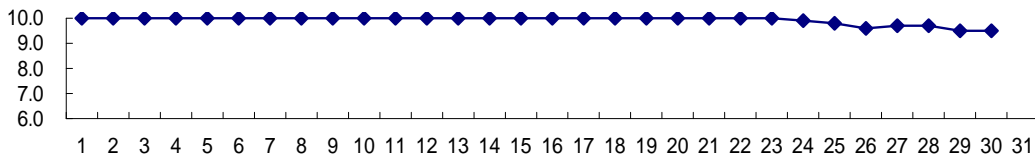
化学的酸素要求量(COD) [mg/L]



溶存酸素量(DO) [mg/L] No.1 接触酸化槽



溶存酸素量(DO) [mg/L] No.2 接触酸化槽



(月/日)

【特記事項】 濁度センサー

- ・6月9日～10日の濁度上昇は、ポンプ交換作業による計測停止(センサーを保持:1.6度/h)によるもの。
- ・6月12日～21日の濁度は、機器故障(光源ランプ低下)によるもの。22日にランプ交換、以降異常なし。

水質様式第 8 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水 ） [平成23年6月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
7(火)	13:00	1.3	< 1	13:15	14	1.4
14(火)	9:58	< 1	< 1	9:40	4.9	1.2
21(火)	13:15	< 1	< 1	12:55	5.7	< 1
28(火)	13:15	1.2	< 1	13:30	6.4	2.1
平均値		1.1	< 1		7.8	1.4
最小値		< 1	< 1		4.9	< 1
最大値		1.3	< 1		14	2.1

特記事項

水質様式第 9 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水 ） [平成23年6月分]

調査日：平成23年6月7日

区分 項目	放流水	内水
時刻	13:00	13:15
pH[-]	7.8(22)	8.7(22)
COD[mg/L]	8.6	15
T-N[mg/L]	1.7	2.6

特記事項

悪臭様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

悪臭調査結果（大阪基地）[平成23年6月分]

調査日：平成23年6月15日

調査項目		調査地点	
		No.5(風下)	No.6(風上)
気象	天候	曇	曇
	気温()	25.5	25.3
	湿度(%)	64	62
	風向	北	北
	風速(m/s)	0.4	0.6
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

悪臭調査結果（堺基地）[平成23年6月分]

調査日：平成23年6月15日

調査項目		調査地点	
		No.5(風下)	No.6(風上)
気象	天候	曇	曇
	気温()	26.0	27.0
	湿度(%)	61	75
	風向	西北西	西北西
	風速(m/s)	0.8	1.0
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

悪臭調査結果（泉大津基地）[平成23年6月分]

調査日：平成23年6月15日

調査項目		調査地点	
		D1(風上)	D2(風下)
気象	天候	曇	曇
	気温()	25.3	25.5
	湿度(%)	63	61
	風向	北西	北西
	風速(m/s)	1.5	2.5
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭